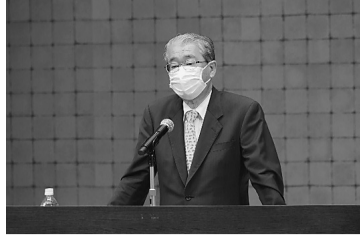


令和3年度特別奨学生・シンシアー奨学生採用式



挨拶：久光 正学長

5月24日、令和3年度昭和大学特別奨学生・シンシアー奨学生採用式を上條記念館で挙行了。今年度は、特別奨学生として医学部5年生15名、歯学部5年生5名、薬学部5年生10名のあわせて30名、シンシアー奨学生として医学部2年生5名、歯学部2年生3名、薬学部2年生3名、保健医療学部2年生3名のあわせて14名が採用された。

昭和大学特別奨学金は、4年次の成績が上位で、卒業後は本学大学院に進学し、引き続き本学において専任教育職員として教育・研究・臨床の分野で大学の発展のために貢献する意思があることが採用の条件になっている。奨学生には5年次と6年次の授業料相当額の奨学金が給付され、大学院に進学した場合も同様に奨学金が給付される。

昭和大学シンシアー奨学金は、社会に貢献できる優れた医療人の育成を目的に、今年度新たに創設された奨学金で、2年次、3年次お

よび4年次の学生で要件を満たした者に給付される。久光正学長は挨拶で「奨学生に採用された皆さんには、将来、昭和大学で後輩を育てる教育者あるいは、優れた発見をする研究者、医療者を通して社会に貢献する医療人、それぞれの形で昭和大学の名を高める役割を担っていただきたい。特別奨学金制度は、大学院を経て、教育・研究を続けるための投資である。今年度からシンシアー奨学金制度を開始

され、3年後には、2年生(6年生まで奨学生が続いていくことになる。最大限の気持ちを含めて、皆さんに将来を託したい」と述べた。

採用式では久光学長から一人ひとりに採用証が手渡され、特別奨学生代表は「本奨学金により、これから控える卒業試験・国家試験の学業に専念できる環境をご提供いただきました。これに報いることができよう、国家試験に合格し、卒業後は昭和大学の発展に寄与していきます」と、シンシアー奨学生代表は「建学の精神」至誠一貫を心に刻み、勉学に励む私たちにとって、本奨学金は大きな支えとなります。これに報いることができるよう、優れた医療人を目指し、今後の学業に努めてまいります」と謝辞を述べた。



謝辞：奨学生代表

三村洋美認定看護師教育センター長は挨拶で「認定看護師教育センター開設を期して、令和2年度に1期生を迎え、本年度は2期生が学ぶ。久光正学長は告辞で「看護の仕事は患者さんの痛みをいかに少なくするか、チームで協力し看護の立場から進んでいくことが重要です。1年後の各課程での学修を経てレベルアップできるよう、今の自分に投資してください。学修の成果を得て素晴らしいキャリアアップをされることを望みます」と述べた。

小口勝司理事長は祝辞で「医系総合大学である本学の約半数を占める看護師に、皆さんが仲間入りしたこと

令和3年度認定看護師教育センター開講式



挨拶：小川良雄リカレントカレッジプリシパル

6月1日、令和3年度認定看護師教育センター開講式を上條記念館で挙行了。同センターは、質の高い医療を提供するマネジメント能力を有した看護師を育成し、国民の健康と安寧に貢献できる高度な看護実践者である認定看護師として

を歓迎します。教育の理念である「社会に貢献する優れた医療人の育成」を体現すべく、知識・技術・マインドを身につけていただきたい」と新入生の成長と奮闘を祈った。

小川良雄リカレントカレッジプリシパルは挨拶で自身の臨床医としての経験を語りながら、「長い時間を数々の課程を、実地も含め、緩急をつけてしっかりと取り組んでください。1年後、

三村洋美認定看護師教育センター長は挨拶で「認定看護師教育センター開設を期して、令和2年度に1期生を迎え、本年度は2期生が学ぶ。久光正学長は告辞で「看護の仕事は患者さんの痛みをいかに少なくするか、チームで協力し看護の立場から進んでいくことが重要です。1年後の各課程での学修を経てレベルアップできるよう、今の自分に投資してください。学修の成果を得て素晴らしいキャリアアップをされることを望みます」と述べた。

小口勝司理事長は祝辞で「医系総合大学である本学の約半数を占める看護師に、皆さんが仲間入りしたこと



挨拶：三村洋美認定看護師教育センター長

閉式後、担当教育職員の紹介やオンラインでの各分野オリエンテーションが実施された。

今年度は手術看護分野16名、腎不全看護分野16名、認知症看護分野5名の計37名が入学し、10か月の課程を通して認定看護師に必要な知識・技能等を学んでいく。

令和3年度の科学研究費助成事業の交付が内定し、本学は昨年度より27件多い317件が採択され、総計で3億3,456万2,807円が交付される。

同事業は、人文学・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究を幅広く支援、発展させることを目的とする競争的研究費で、独自の採択課題が選定される。交付内定の各内訳は次のとおり。

令和3年度 科学研究費助成事業交付内定状況

年度	令和3年度	
	件数	金額(円)
総計	317	334,562,807
学部・研究所別内訳		
医学部	134	122,062,807
歯学部	105	134,600,000
薬学部	34	37,000,000
保健医療学部	25	16,400,000
富士吉田教育部	2	3,100,000
臨床薬理研究所	6	11,600,000
発達障害医療研究所	5	4,400,000
薬理科学研究センター	1	500,000
統括研究推進センター	1	800,000
国際交流センター	1	1,500,000
学長直属	2	1,500,000
電子顕微鏡室	1	1,100,000
研究種目別内訳		
新学術領域研究	1	2,000,000
基盤研究(B)	9	30,600,000
基盤研究(C)	175	164,562,807
挑戦的研究(萌芽)	4	8,200,000
若手研究(B)	1	(※) 0
若手研究	119	116,800,000
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	1	5,100,000
研究活動スタート支援	7	7,300,000

※令和3年度延長課題のため、本年度分の入金なし

令和3年度 科学研究費助成事業 交付内定

令和3年度の科学研究費助成事業の交付が内定し、本学は昨年度より27件多い317件が採択され、総計で3億3,456万2,807円が交付される。

同事業は、人文学・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究を幅広く支援、発展させることを目的とする競争的研究費で、独自の採択課題が選定される。交付内定の各内訳は次のとおり。

第30回昭和大学学士会シンポジウム バイオメディカルサイエンスの最前線

- 日時：2021(令和3)年8月28日(土)
- レドックス感受性アダプター分子の疾患発症における役割
昭和大学医学部生化学講座 准教授 金山 朱里
 - 生活習慣病に潜むタンパク質分解異常
昭和大学医学部生化学講座 准教授 宮崎 拓郎
 - オルガノイド技術を用いた多能性幹細胞による3次元唾液腺の誘導
昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門 講師 田中 準一
 - 最新技術で迫る破骨細胞の真の姿
昭和大学歯学部歯科薬理学講座 教授 高見 正道
- ☆開催詳細は昭和大学学士会ホームページにてご案内いたします。

就任のお知らせ(6月8日 理事会承認)

横浜市北部病院脳血管センター長
(勤務地：横浜市北部病院脳血管センター(脳卒中科))

寺田 友昭
現：特任教授(学長直属)
任命日：令和3年6月1日



昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

教育研究協力資金への寄付

【父母】
金納 慶太様 / 田中 宗史様
有村 健一郎様

昭和大学藤が丘病院への寄付

【一般】匿名希望様

昭和大学横浜市北部病院への寄付

【一般】
横浜都筑ロータリークラブ様

その他への寄付

【同窓】
中山 壽朗様(医学部・35回生)

昭和大学リカレントカレッジ 春期プログラム開講・秋期プログラム募集開始

本年4月より春期プログラムが開講しました。春期プログラムは医学に関するプログラムを中心に全18講座を開講し、対面またはオンラインで実施しています。対面時の講座の会場は、主に上條記念館を利用し、感染対策を行った上で開講しています。またオンライン講座では、講師が配信スタジオからzoom等でライブ配信を行っており、双方向でのやり取りが可能です。さらに、対面とオンラインを併用し、ハイブリッド型で開講するプログラムもあり、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。学生時代に戻ったように、熱心に講義を聴講し、課題や発表に取り組んでいる受講生の姿がとても印象的です。

また、7月1日より秋期プログラムの受講生募集を開始しました。秋期プログラムでは全31講座を準備しており、専門的な知識の習得から趣味を極める内容まで多彩なラインナップを取り揃えています。ぜひ、あなたの人生に役立つ新しい知識の色を増やしてみたいかがでしょうか。

問い合わせ：昭和大学リカレントカレッジ事務室 (03-3784-8143)

※リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。

次号より秋期開講プログラムを紹介していきます。

対面での講義の様子(感染対策を行った上で実施)

配信スタジオからライブ配信を行っている様子